



新宿区

# しんじゅくの教育

平成21年(2009年)

3月1日発行

Vol. 81

編集発行 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎3209-1111  
http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/

## 区立図書館が リフレッシュOPEN

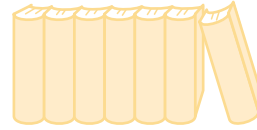
新宿区立図書館では、平成21年2月から次の新たなサービスを開始しました。身近でより便利になった区立図書館をどうぞご利用下さい。

問合せ 中央図書館 (3364) 1421

### 主な記事

- 2面 ● 職場体験!
- 3面 ● 日本語を学ぶ子どもたち
  - 子どもを豊かに育てる家庭の教育力
- 4面 ● 女神湖バスツアーのご案内
  - 図書館からのお知らせ
  - 教育委員会の動き

# 充実の6つのサービス



## 1 自動貸出機の設置 (全館)

ご自身の操作で図書館の資料(図書・雑誌・CD等の視聴覚資料)の貸出手続ができます。

利用者カードを差し込み、画面に表示される案内に従って操作してください。複数の資料もまとめて貸出手続が可能です。



貸出機画面



貸出機本体

※カウンターでの貸し出しも、従来どおり行っています。

## 3 「ご相談コーナー」の設置 (全館)

「調べもの」「探しもの」など、図書館を利用される方のご質問やご相談を受ける専用の相談コーナーを設置しました。図書館職員が皆様のお手伝いをします。お気軽にお尋ね下さい。

※「ご相談コーナー」には、「?」の案内表示がされています。

[受付時間] 午後1時から午後5時まで

## 4 ICタグの導入 (全館)

図書館のすべての資料(図書・雑誌・CD等の視聴覚資料)にICタグを貼付したことで、蔵書点検作業に必要な時間が短縮されました。特別図書整理(年1回実施)による休館日数を短縮し、開館日数を増やします。

## 5 セキュリティゲートの設置 (全館)

図書館資料を適正に管理するため、全館の入口にセキュリティゲートを設置しました。貴重な区民の財産である図書館資料の持ち去りを未然に防止します。

貸出手続がされていない資料を館外に持ち出そうとすると、アラーム(警告音)が鳴ります。



## 6 視聴覚資料の移動、ご利用時間の拡大 (中央図書館)

視聴覚資料を3階に移動して、貸出返却カウンターを図書カウンターと一元化しました。同時に、開架方式とし、CD等を手にとってご覧いただけるようになりました。また、視聴覚資料のご利用時間を延長しました。

[利用時間] 午前10時から午後8時まで(日・祝日は午後6時まで)

## 2 インターネット閲覧用パソコンの設置 (中央図書館に3台、こども図書館に1台、各地域館に1台)

区民の皆様の幅広い情報収集を支援するためインターネット閲覧用パソコンを設置しました。

**利用時間** 開館時間内で1人1回30分までご利用できます。図及び回数 書館カウンターに利用者カードを提示のうえ、利用申込書に記入してご利用下さい。利用受付は閉館30分前です。また、事前の電話予約はできません。

**閲覧可能な内容** インターネット(検索可能なサイトには制限があります)、新聞記事検索用データベース等を無料で利用できます。

**利用制限** 情報検索を目的としており、検索画面の印刷やメールの送受信、外部記憶媒体(USBメモリ等)の接続、プログラムやデータのダウンロード等はできません。

## 教育長 就任の挨拶

いしざき ようこ  
教育長 石崎 洋子



新宿区に入区して37年、一貫して新宿区の行政に携わって参りました。そのうち8年間、教育の分野の仕事に従事し、その経験の中で、新宿の子どもたちが、学校や地域の中で健やかに育っていきける環境の重要性と、教育委員会の責任について痛感してきました。昨年12月に教育長を拝命し、この重責を改めて噛みしめるとともに、新宿の子どもたちが時代を生き抜くために相応しい力を身につけられるよう全力を傾注し、教育行政の発展に邁進する決意を新

たにしているところです。

さて、教育の分野では、約60年ぶりに教育基本法の改正が行われ、これを受けて学校教育法をはじめとした教育3法が改正されるなど大きな変化がありました。このうち教育基本法の改正では、教育振興基本計画の策定が努力義務とされました。これに基づき、新宿区教育委員会では、子どもの将来像を見据えた教育目標を実現するため、平成21年度から概ね10年間の教育施策を示した「新宿区教育ビジョン」を策定しているところです。

少子化時代、情報化社会などと言われて久しいですが、目まぐるしい社会情勢の変動のなかで、子どもたちを取り巻く環境も、刻々と変化しています。現在の家庭、地域の状況の中で、子ども一人ひとりの生きる力、確かな学力をどのようにはぐくんでいくかが大きな課題です。いじめや不登校、子どもの安全等、引き続き取り組んでいかなければならない

課題も多くあります。

こうした一つひとつの課題に向き合い、ビジョンに掲げる目標を実現するためには、子どもと直接向き合う学校の現場に目を向け、支えていかなければなりません。子どものためなら、と協力を惜しまない地域の方々も多くおられます。家庭、地域のご協力を得ながら、教育委員会が、これまで以上に学校・保護者・地域の方々と連携していくことが重要です。

まちづくりの基本方針である新宿区基本構想は、理念の一つとして「次の世代が夢と希望を持てる社会をめざします」を掲げています。学校が、未来を担う子どもたちの夢と希望をはぐくむよう全力で取り組んでまいります。

今後とも、新宿区の教育に対する皆様の温かいご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

# 職場体験!

## ふくらむひろがるみんなの夢



新宿区では、興味や関心が自己から他者、そして社会認識へと広がっていく時期である中学2年生を対象に、職場体験を実施しています。

生徒一人ひとりが自分の個性や適性を理解し、望ましい勤労観・職業観や知識を身につけ、主体的に自分の進路を選択・決定できるよう、学校と保護者、そして地域のみなさまと連携し、取り組んでいます。

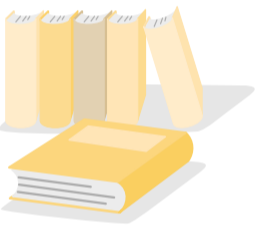
職場体験を通して、考え、学び、ひとまわり大きくなった生徒たち。その成長を、生徒の感想や職場体験発表会の様子から紹介します。

問合せ 教育指導課 (5273) 3084



### ● 出版社で体験! ●

出版社の仕事について、以前から興味があった。しかし、実際に職場体験をしてみるとイメージしていたものと違って面白かった。一冊の本を作るために、企画者、執筆者、イラストレーターなど、多くの人々が携わり何回も会議を経て完成することに驚きを感じた。私は会議でどの人も自分の考えを強く主張していることが、とてもすごいと思った。これからの生活の中で意識して会話をし、考えをきちんと伝えていこうと思う。



(牛込第三中学校 捧美玖莉さん)

### ● 父親の職場で体験! ●

普段「大変大変」といっている父の仕事がどのようなものなのか知りたいと思ったので、体験先を選びました。屋根の設計・製作・加工を行う会社で、1日目は職人さんに現場の仕事内容を伝える書類などを作ったり、分類したりしました。2日目・3日目は作業現場に行き、現場監督と打ち合わせをしたり、写真を撮ったりしました。

体験して感じたのは、一生懸命働いた後の休憩時間は、とても楽しいということです。また、ひとつの仕事にこれだけ多くの人が関わっているという新しい発見があったことも嬉しかったです。一方、日陰が少ない炎天下で働くことや、現場は危険だということを知りました。父は、家では疲れているにもかかわらず、僕のことを気にかけ、よくかまってくれます。職場体験を終えて、あらためて父を尊敬しました。

(四谷中学校 浅野倭志さん)

### ● 美容院で体験! ●

美容院に行きました。とてもオシャレな所でした。お客さんにするシャンプー、髪の毛の染色、マッサージのしかたなどを教えてもらい、難しかったけれども楽しかったです。私が職場体験で学んだことは挨拶の大切さです。職場の人に「もっと挨拶を笑顔で元気よく言ってください!」と言われました。部活もそうだと思うけれども、大人になったらもっと挨拶をしなければならぬことを知りました。今まで以上に、いろいろな人に挨拶をしていきたいと思いました。(落合第二中学校 清原 遥さん)



### ● お豆腐屋さんで体験! ●

お豆腐屋さんで職場体験をしました。実際にやった仕事は、接客・洗い物・お豆腐の移動・打ち水などです。



驚いたことは、お客さんもお店も資源を大切にしていることです。お店側は使わなくなった水は捨てるのではなく打ち水にしています。お豆腐を入れる容器を持参したお客さんには、お店も少しサービスをしていました。

また体験してわかったことは、お店がお豆腐という物売るだけではなく、お客さんとの触れ合いをとても大事にしているということです。お客さんとの触れ合いを通じて地域の方のあたたかさを感じることができ、貴重な体験となりました。

(四谷中学校 川田真菜さん・相馬やよいさん)

### ● ファミリーレストランで体験! ●

ファミリーレストランで、接客、皿洗い、サラダ作りをしました。

この体験を通して、決して楽な仕事などない、働くということは苦勞してお金を手に入れることなのだと思います。また、みんなが連携して一つの仕事が成り立っていて、職場の一人ひとりがみんなに気を遣い、いたわり合っていることがわかりました。

そして実際に経験した接客では、尊敬の心をもって接客することの大切さを知りました。他の仕事でも、人に対して尊敬の心をもっていないとできない仕事ばかりだと思います。将来のためにも、日ごろから人への尊敬の心をもってたいです。

(牛込第三中学校 各務元夏さん・番場大介さん)



### ● ガス器具の設置等を体験! ●

ガスの修理・設置工事や開栓作業をする会社で職場体験をしました。



1日目。ガスの使い方を説明する業者の方々の説明の上手さに驚かされました。2日目は、実際にガスの取り付け作業を見せていただいたり、一酸化炭素がもれていないかの点検作業をさせていただいたりしました。3日目は午前中に、汗びしょりになりながらガス湯わかし器の取り付けをさせていただきました。

3日間という短い期間でしたが「働く」ことの喜び、大変さを学ぶことができました。ガス器具を使う時に、皆さんの顔を思い出しています。

(西早稲田中学校 大久保孝祐さん)

## 職場体験発表会では

12月20日(土)に行われた職場体験発表会では、生徒が体験したことや学んだこと・感じたことを、スライドショーや劇を交えて発表しました。

発表は、それぞれが職場体験してきたことへの誇りと感謝の気持ちが強く感じられるものとなりました。

その中で、落合中学校の生徒は劇「手紙～職場体験ストーリー～」を演じました。

劇の中では、生徒から事業所の方や保護者あてに書いた感謝の手紙、学校から事業所の方へ送った職場体験受入をお願いする手紙、また児童館を利用する子どもが書いた生徒あての手紙や、事業所の方から学校にいただいた手紙などが、次々と披露されました。生徒・学校・家庭・事業所の方・地域のお客さまが「手紙」を通してつながっていることがわかる、心あたたまる内容でした。



「手紙」をテーマとした劇を披露する落合中学校の生徒

受け入れ先の事業所のみなさま、温かく接してくださったお客様に支えられ、子どもたちは大きく成長しました。ご協力ありがとうございました。

### 心に響いた事業所の方のお話 生徒の感想より

～仕事へのおもい編～

◆ 仕事を誇りに思っている。 ◆ お客様を大事にしているから頑張れる。

～中学生へのアドバイス編～

◆ 方向は決めなくていいから、興味をもったことに挑戦した方がいい。 ◆ たくさんの経験をしてほしい。その経験は将来財産になる。

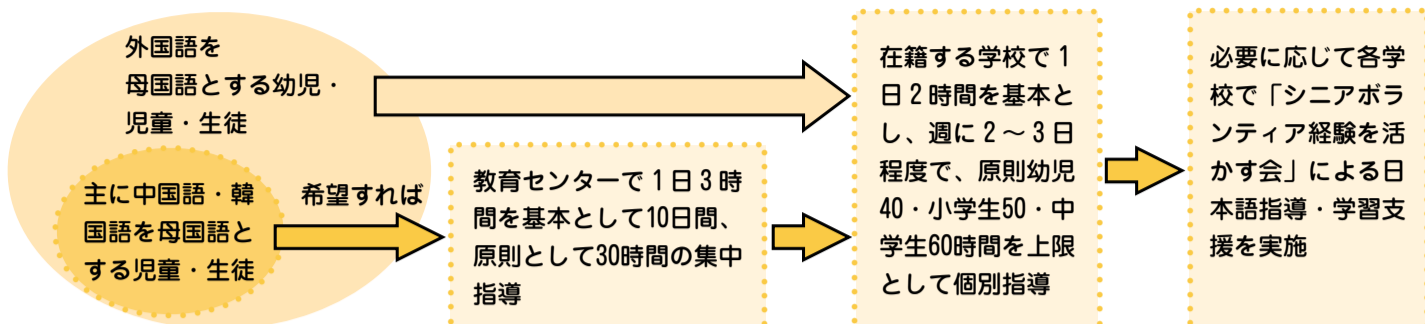
### 体験でココが嬉しかった! 生徒の感想より

◆ 職場の方が優しくしてくれた。 ◆ お客さま・店員の方に「頑張ってね」「ありがとう」と言われた。 ◆ 体験できたことによりお店の方に負担がかかるのではないかと心配したけれども、店員の一人として見てもらえた。 ◆ アドバイスをもらい、そのとおりにできた時にほめてもらえた。

●新宿区は、身近な環境に配慮した、地球にやさしいまちづくりを推進しています。「しんじゅくの教育」は、森林資材の保護とリサイクル促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

# 日本語を学ぶ子どもたち

新宿区には、現在およそ3万人の外国人の方が住んでおり、区立幼稚園・小・中学校には、日本語以外を母国語とする子どもたちが多く在籍しています。「日本語サポート指導」とは、このような外国等から転(編)入学した幼児・児童・生徒を対象として、日本語の指導や日本の学校生活への適応支援を行うものです。また、母国語を使って日本語を指導することにより、子どもが学校生活により早く適応し、心理的不安を軽減できるようにしています。☎ **問合せ 教育指導課 (5273) 3084**



## 教育センターでの日本語サポート

教育センターでは、4月から2月までにおよそ30人の子どもが指導を受けました。教育センターには、中国語・韓国語を使って日本語を教える日本語サポートの先生が常駐しています。まず、初日はその子のレベルを把握するためにプレテストを実施します。その後、カリキュラムガイドラインに沿ってひらがな・カタカナ・数字などの「読み・書き」や簡単な日常会話を教えます。このことについて、指導の先生や授業を受けている子どもたちにお話を伺いました。

### はじめての日本語

韓国語で授業を担当している松井先生は、日本語学校で日本語を教えたこともあるベテランの先生です。「日本語学校では、日本語で日本語を教えます。しかし、教育センターに通学してくる子どもの多くは、初めての日本の生活に不安を持っています。ですから、心理的不安を軽減するためにも、日本語だけでなく、母国語を使って学校生活についても教えています。」松井先生は、初期指導では、学ぶことの楽しさを実感させることが重要、と力を込めます。そのために、単にテキストだけでなく、多様な教材を準備し、実際の生活でも使えるように場面設定をしながら、コミュニケーションが図れるように指導しています。

### 日本の学校に入って

では、日本語を学んでいる子どもたちはどうでしょう。

**1** 「好きな科目は英語です」。1ヶ月前に日本に来たという中学2年生の女の子。「日本の学校は科目が多くて驚きました。中国

では、英語・算数・国語などを目いっぱい勉強します。その上、夕方7時くらいまで学校にいるのが普通でした。日本の学校は帰りが早くて嬉しいです」とこり。しかし、まだ日本語を理解できないため、授業はわからないことが多いと言います。

**2** 同じく中国から来た中学1年生の女の子も日本の科目の多さに驚いたと言います。「この生徒は内気な性格のためか、こちらが話すことを理解していてもなかなか自分からうまく表現できないんです」と先生。日本の学校には慣れましたかと尋ねると、「はじめは、家に帰ると一人で寂しかったけれど、最近は友達ができました」とはにかみながら、しっかりと日本語で答えてくれました。

**3** 一方、韓国から来日した小学生の兄妹は、日本語の勉強が楽しくてたまらない様子。書くのも読むのも楽しいと言います。「学校の雰囲気も韓国とあまり違いはありません。日本の学校は給食がおいしいです」と2人。2人が通う小学校は韓国から来た子どもが多く在籍するため、寂しさや不便を感じることはあまりないと話してくれました。

## 在籍する学校での日本語サポート

学校の日本語サポート指導は、在籍する学校に日本語サポートの先生が出向き、学校で、母国語で日本語の指導を行います。

**4** 父親の仕事の関係で来日するまで、日本語は見たことも聞いたこともなかったというマーシャル諸島から来た中学1年生の男の子。カタカナはまだ難しいと言います。授業の様

子を尋ねると「母国語が英語なので、僕が話していることを多少は友達も理解してくれます。でも授業を理解するのはなかなか難しい」とやや困惑している様子。学校では、バスケットボールのチームに所属していて、今はそれが一番楽しいとのこと。日常生活では「新しい発見ばかりで楽しいけれど、一人で街に出ると、漢字だらけで困る」と苦笑いでした。

## 大切にしよう支え合いの心

一朝一夕では習得できない言語。松井先生は、「小学生であれば遊んでいるうちに、日本語を習得できるものですが、中学2年生くらいで編入してくる子は、受験も控えており、授業についていくレベルまで引き上げるのはかなりハードルが高い」と言います。一方、「小学生は、メンタルケアが大変」と語る先生もいます。「何故、日本に来たのか理解できず、日本の生活に馴染めずに不登校になってしまう子どももいます。学級担任によるフォローにも限界があるため、日本語サポートの先生がこのような問題に対処することも必要なのが現状です」。

学校で学ぶすべての子どもたちが、楽しく過ごすことができるよう、日本語サポート指導終了後も、引き続き子どもたちを学校・地域が連携し継続して見守っていくことが必要です。



20年度も、全校で実施した入学前プログラム。参加した方からは「子どもの自立について考えるきっかけになった」「子どもたちが仲良くなっているのを見て安心した」などの感想をいただいています。幼稚園と保育園の保護者が一緒に話をする機会を持つことで、お互いに持っていたイメージが変わったというご意見も多かったです。土・日曜には男性保護者の参加も

第3回(最終回)は「入学前プログラム」をご紹介します。17年度にスタートした入学前プログラムは、19年度から区立小学校全29校で教育委員会が各学校と協力して実施しています。小学1年生に進学するときは、子どもにとっても保護者の方にとっても人生の節目のひとつ。夢がふくらむ一方で、同時にさまざまな不安も抱く時期です。こうした不安を解消し、スムーズな入学ができるようにすることが目的です。保護者と子どものプログラムは別々に行います。子ども向けプログラムは、遊びや学校探検などをいっしょに体験して、友達をつくらったり、入学に向けて前向きな気持ちをつくります。保護者向けプログラムは、コーチング講師によるワークショップ(体験活動)により、「親の役割」「子どもの幸せな自立」など同じテーマについての体験を共有することで、参加者の連帯感を高めます。子どもたちが入学前から仲良しになり、保護者の方同士も顔見知りになることで、環境が大きく変化しても不安は少なくなります。また、保護者同士が連帯感を持つことで、子どもたちの問題を一緒に捉えるなど学び合いのきっかけにもなると考えています。

子どもを豊かに育てる家庭の教育力

### 最終回

親が協力し合って子どもを育てるために入学前プログラム

徐々に増えてきました。「このプログラムをきっかけに、自分も親としての役割にもっと積極的に参加したいと思いました」というお話をいただき、男性保護者の子育てへの参画機会を広げるために、教育委員会ができることのひとつと感じています。また、このプログラムには趣旨に賛同してくださった多くの方がかわってくださっています。学校はもとより、スクール・コーディネーターの方、PTAの方、地域の方、講師の方、学生ボランティアなど。「大勢の方がこのプログラムにかかわっている様子を見て、子育ては自分ひとりではないんだ」という感想もいただきました。家庭・学校・地域・行政といったさまざまな人と人がつながって、子どもの育ちをはぐくむ輪がひろがるきっかけにもなっています。

入学してからもこうした機会を設けてほしい、という要望も多かったと思います。より一層この事業の趣旨を充実させていくため、教育委員会では、小学1年生を対象とした入学後のフォローアップ事業等を実施するなど、事業の拡大について検討しています。



☎ **問合せ 教育政策課地域家庭教育係 (5273) 3147**

# ヴィレッジ女神湖行き 春の観光付きバスのご案内

昨年より運行を開始した「新宿区発ヴィレッジ女神湖行き観光付きバス」では、暖かい春の息吹に包まれた信州を満喫頂くため4つのコースを新たに企画しました。7年に1度の御開帳の儀を執り行う善光寺、日本の桜100選にも選ばれた高遠の桜、1000本もの桜を抱く上田城跡公園。信州の春を代表する名所巡りと木々の芽吹きが美しい女神湖をどうぞお楽しみください。

観光付きバスの詳細・価格や予約等は、ヴィレッジ女神湖のホームページ (<http://www.megamiko.jp/>) をご覧いただくか、あんしん宿予約センターへお問い合わせください。各出張所・区民センター・図書館等でもチラシを配布しています。もちろん、通常のご利用もお待ちしております！

## 春季予定コース

善光寺詣と上田城花見コース	1泊	4/10(金)～4/11(土)、4/11(土)～4/12(日)
善光寺詣と高遠花見コース	1泊	4/18(土)～4/19(日)、4/19(日)～4/20(月)
善光寺御開帳コース	1泊	4/6(月)～4/7(火)、4/9(木)～4/10(金)、4/21(火)～4/22(水)、4/24(金)～4/25(土)、4/26(日)～4/27(月)、4/28(火)～4/29(水)、5/8(金)～5/9(土)、5/15(金)～5/16(土)
善光寺詣と高遠・上田花見コース	2泊	4/12(日)～4/14(火)、4/14(火)～4/16(木)

● **価格【1泊コース】** 大人1名12,200～17,000円 【2泊コース】 大人1名19,400～25,000円です。目的地まで乗り換えいらず&宿泊+交通費+観光がセットになってこのお値段！お値打ち企画です！

## 問合せ

### 観光バスの受付窓口

あんしん宿予約センター TEL: 03 (3263) 1415  
受付時間 午前10時～午後6時 (土日祝も営業しています)  
ヴィレッジ女神湖 TEL: 0267 (55) 6100

### 一般利用の受付窓口

日通旅行ビジネスサービス TEL: 03 (5273) 3881  
新宿区役所内営業所 受付時間 午前9時～午後5時

## 図書館からのお知らせ

# 絵本でふれあう 子育て支援

新宿区では子どもたちの健やかな成長を願い、平成15年度から0歳児を対象に「絵本でふれあう子育て支援」事業を行っています。この事業は、保健センター・図書館・地域のボランティアが協力して行い、絵本を介して保護者と赤ちゃんが言葉と心を通わすひとときを応援するものです。

## 1. 絵本セットのプレゼント

保健センターで行われる3・4ヶ月児の健診会場で、絵本セット(絵本2冊、コットンバッグ、パンフレット2種類)をお渡ししています。今年度の絵本は「くつついた」(三浦太郎/作 こぐま社)と「どうぶつのおかあさん」(小森厚/文 藪内正幸/絵 福音館書店)です。



## 2. 絵本の読み聞かせ

健診が終わった後、ボランティアの方々が赤ちゃんにプレゼントした絵本を一对一で読み聞かせします。ここで初めて絵本と出会う赤ちゃんも多いのですが、表情豊かに絵本を見つめ、声を出して反応するわが子の姿を見て驚かれる方も多くいらっしゃいます。「絵本の読み聞かせは親子のスキンシップやコミュニケーションをとる方法の一つです。赤ちゃんはおうちの人の声を聞くことも、絵本を見ることも大好きです。お気に入りの絵本を何度も繰り返し読んであげてください」とボランティアの方々が。親子で絵本を楽しむきっかけづくりには是非ご参加下さい。

# 3歳児向けにも事業をスタートします!

平成21年度から「第二次新宿区子ども読書活動推進計画」に基づき、3歳児向けの「絵本でふれあう子育て支援」事業も開始します。内容は、3歳児の健診会場での絵本の読み聞かせ、区立図書館での絵本(1冊)のプレゼントです。

● **問合せ** こども図書館(中央図書館内) (3364) 1421

# 教育委員会の動き

## ◆教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。今号では、平成20年11月28日から12月8日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

委員 員：羽原 清雅  
委員 員：熊谷 洋一  
委員 員：松尾 厚  
教 育 長：石崎 洋子

### ■議案

- 新宿区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 新宿区教員委員会教育長の任命について

### ■報告事項

- 新宿区教育ビジョン素案地域説明会及びパブリック・コメントの実施結果について
- 区立図書館における利用サービスの充実について

### 教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、区役所本庁舎の門前掲示場に掲示しています。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴するのに不相当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不相当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

# 教育委員 就任の挨拶

教育委員 松尾 厚



このたび新たに教育委員に選任され、昨年12月8日付で就任いたしました。若輩で至らぬところも多々あるかと存じますが、教育委員であり、現役保護者でもあるという立場が活きるように、保護者の視点を忘れずに、先輩の委員の方々とよく協力して委員を務めてまいりたいと思います。私は新宿区立小中学校の卒業生でもありますので、教育委員の任務を通じて、私を育てて下さった先生方・学校・地域・新宿区に対する恩返しができるかと考えております。

さて、私は、大学で数学の教育と研究に携わっていますので、授業などを通じて大学生と接する機会がありますが、その姿を見ながら、子どもの頃の教育の大切さに想いを馳せております。一方、保護者として自分の子どもたちや学校・地域の子どもたちと接していますと、将来どんな風に育っていくのだろうか、期待と不安の入り交じった気持ちになります。同時に、子どもの成長にとって保護者はきわめて重要な役割を担っていますから、広い意味で教育に携わるものとして、その責任の重さをひしひしと感じることもあります。

考えてみれば、教育というものは、多くの関係者が互いに協力しつつ、次々とバトンタッチしながら長い年月にわたって行われるものです。また、子どもには一人ひとりの個性がありますから、それぞれの子どものあった方法を臨機応変に見出していかなければならないこともあるでしょう。そして、その教育の真の成果が現れるのは、とすれば数十年後になるかもしれません。

教育の問題は模範解答のない本当に難しい問題ですが、教育委員として、より良い方法を模索すべく努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

● **問合せ** 教育政策課管理係 (5273) 3070

### ■教育委員会委員の就任について

委員の任期満了及び定数増により、平成20年12月8日に4人の教育委員が就任しました。

新たに、松尾厚委員及び石崎洋子委員が12月8日付で区長から任命されました。12月7日付で任期満了となった羽原清雅委員及び熊谷洋一委員は、12月8日付で引き続き区長から任命されました。

任期は、松尾厚委員が平成23年12月7日まで、その他の委員は平成24年12月7日までです。

また、教育委員会は、金子良江教育長の任期満了による退任に伴い、石崎洋子委員を同日付で教育長に任命しました。

新宿区教育委員会の構成は、次の6名です。

委員 長：木島 富士雄  
委員 長職務代理者：白井 裕子